

— コンペ班 選択実習

東京駅 丸の内駅舎模型作成

～メンバー～

犬塚・加藤・草柳・田村・佐藤・濱中

東京駅を選んだ理由

昨年発行された新札の一万円に
渋沢栄一とゆかりのある東京駅が採用されたため



東京駅を選んだ理由

授業内で見学に行くことができる建物だったため



調査（現地での調査）

丸の内駅舎の見学

- ・ 歩測
- ・ ウォーキングメジャー
- ・ レーザー測定器
(距離を測る器械)
- ・ 写真撮影



模型作製手順

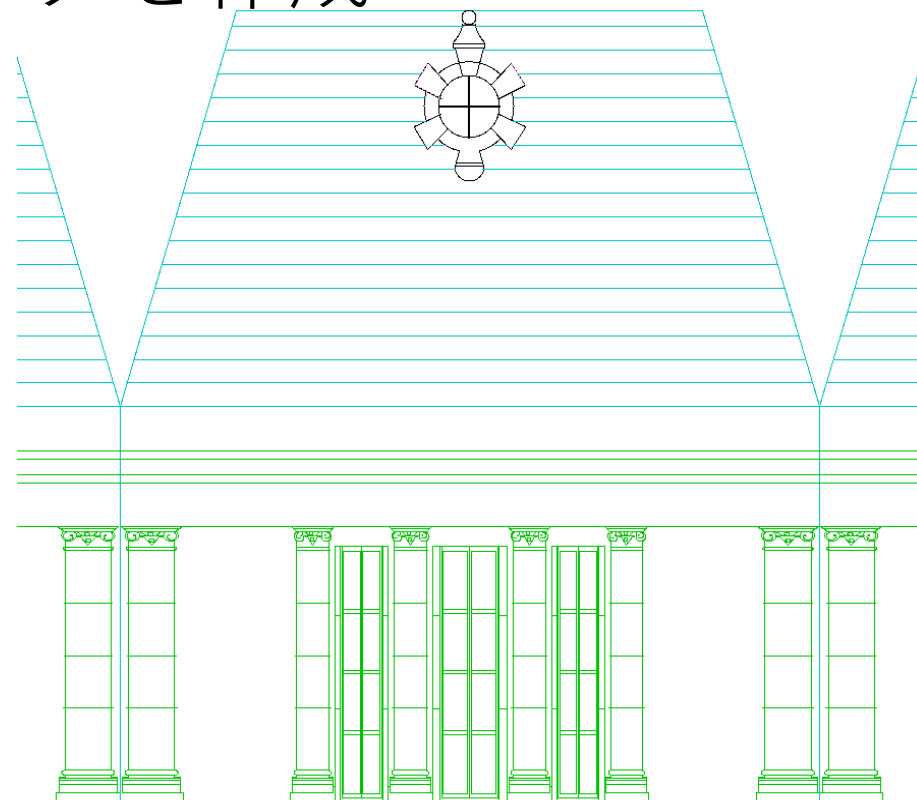
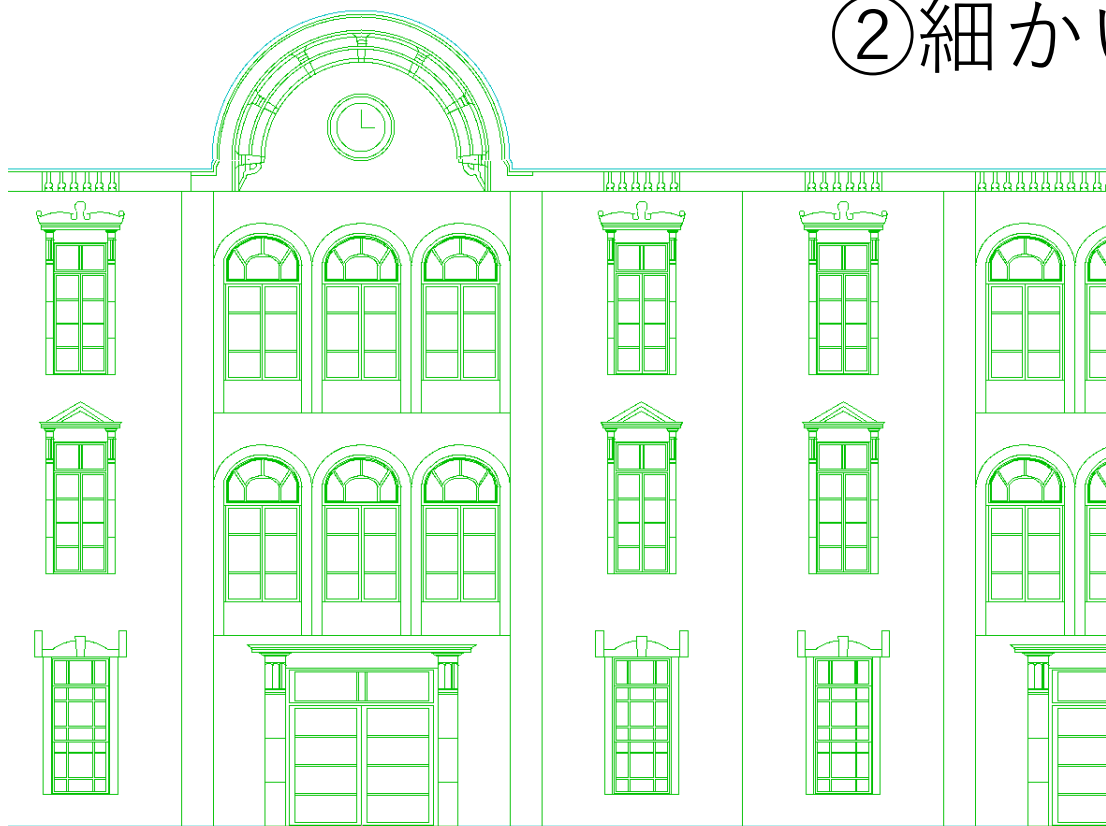
- ①CADで図面作成
- ②スチレンボードでスタディ模型作製
- ③レーザー加工機で出力（印刷・切断）
- ④パーツの組み立て

CADで図面作成

①全体をラフで作成



②細かいデータを作成



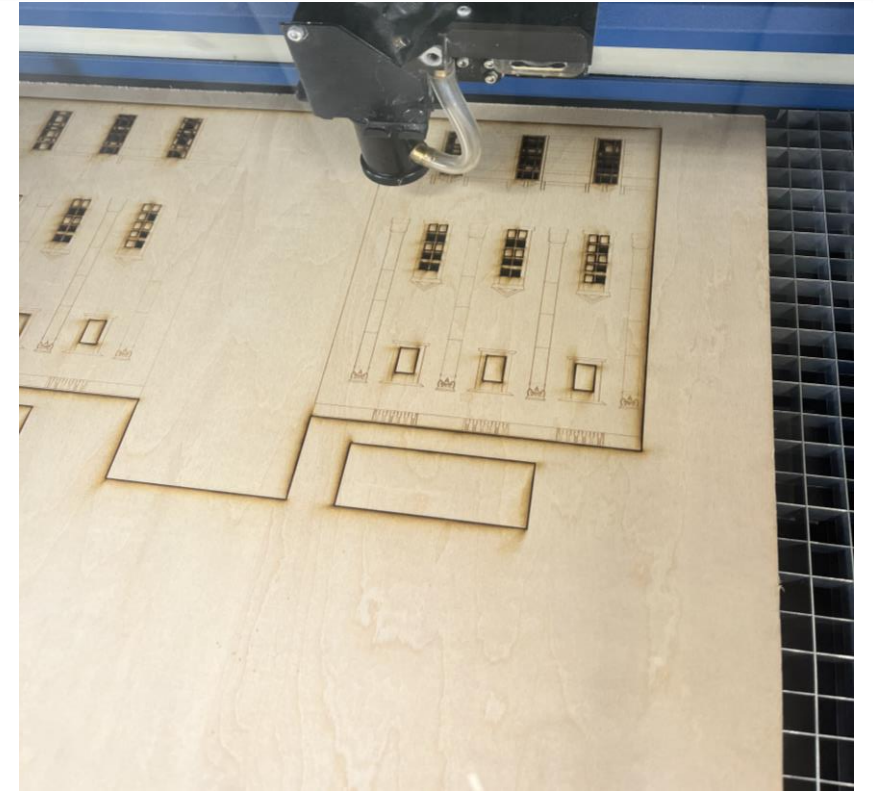
スタディ模型



- ・ スチレンボードで製作

本番の出力をする前に修正するポイントを確認した

レーザー加工機



完成したCADデータをレーザー加工機でシナ合板に印刷・切断

パーツ組み立て



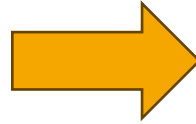
瞬間接着剤・ボンド・マスキングテープを使用

～干支レリーフ作製手順～

- ①油粘土で牛と羊を作製。
- ②かたとーるで型を作製し、石膏を流し込む。
- ③土台の作製。
- ④模様をレーザーで作製。
- ⑤接着。

粘土で作製した
左(牛) 右(羊)





型の元となる、**かた**
とーるを液状になるま
でまぜーる。

液状になったかたとーる
を粘土に流し込み、型を
作製した。

作製したレリーフ



実際に飾られているもの

